

# 起業家Close-up

中須 俊治 さん [株式会社 AFURIKA DOGS 代表取締役]

## 京都とアフリカを繋ぐファッション文化「お誂え」



「最貧国 トーゴ共和国を訪れ 日本の豊かさに違和感を覚える」

トーゴ共和国はガーナの東に位置する人口808万人の国である。

中須さんが、トーゴと京都で事業を行うのは「お誂え」という共通する文化を通して、日本の消費者に精神的豊かさを問いかけた「からだという」。

学生時代、日本人が居ない国に行きたいと在留邦人わずか2名のトーゴに渡り、ラジオ局のジャーナリストとして現地の仲間と様々な経験や感情を共有した。トーゴは世界の最貧国の一つとして挙げられるが、ハレの日にオーダーメイドのファッションを楽しんだり、

かつて「お誂え」が広く親しまれた地・西陣にある直営店では、トーゴ出身の縫製職人デアバロさんが、京友禅やアフリカの「生地」から「あなた

消費から体験へ  
ものづくりの  
バックストーリーを  
消費者に伝える

音楽を楽しんだりする日々の暮らしに、精神的な豊かさを感じた。一方日本では、バリコレクション出品作品の染色を手掛ける等、高級ブランドからオフィアの絶えない染色工房でも、加工賃が上がらず悩む姿を目の当たりにして、日本の豊かさに疑問を覚えたという。

2018年11月、再びトーゴに渡り、現地に根差して生活文化にふれるため日本人として初めてトーゴに法人を設立し雑貨店を開業するとともに、昨年11月には、京都西陣に直営店をオープンし、トーゴと京都の「お誂え」文化の裾野を広げる取り組みを開始した。



代表の中須俊治さん

京商イブニングピッチ  
アーカイブ動画↓



だけの1着」を仕立ててくれる。また、「生地」が生まれる背景にも思いを馳せ、その魅力に触れてほしいという思いから、一見さんお断りの京友禅の染色工房でワークショップを開催し、生産者と消費者を繋ぐ取り組みも行っている。「ものづくりの背景にある技術や文化、職人の思いを見える化して、多くの消費者に伝えたい」と笑みをこぼす。

「京商イブニングピッチ」の登壇をきっかけに、5月26日から開催される「ART@DAIMARU」への出展も決まった。「大丸京都店さんとともに職人さんへのリスパケトを発信したい」と中須さんは、準備に奔走している。

< DATA > 株式会社 AFURIKA DOGS

[代表者] 中須 俊治 [住所] 京都市下京区鶏鉾町480オフィスワン四條烏丸13階

[電話] 090-6373-3203 [WEB] <https://afurikadogs.com/>

[事業内容] アパレル製品等の企画製造販売、工房体験等の企画、トーゴ進出サポート等

[創業年] 2018年



<< ART@DAIMARU >> 大丸京都店 各フロアにて

期間: 5月26日(水) ~ 6月15日(火)

テーマ: 「Smile & Love」

~ ART で世界に、微笑みを。~

出展: 染色工房アートユニ & AFURIKA DOGS

